

## 平成22年度第3回理事会議事録

日時 ■平成22年7月2日(金曜日)  
12:00 ~ 12:50

場所 ■長野大学 上田キャンパス 会議室

出席者 ■青木(弘), 蓮見、尾登、青木(幹), 五十嵐, 岡本, 久保, 黒川, 黄, 小林, 佐々木(美), 佐々木(尚), 佐藤, 杉山, 須永, 寺内, 野口, 古屋, 三橋, 森田, 山崎, 山中, 禹, 國澤, 小野

委任状出席 ■伊豆, 伊原, 河原林, 清水, 車, 杉下, 永井, 長谷, 梨原, 松岡, 村上, 宮崎, 渡邊

名誉会員出席者 ■田中(正)

### 1. 会長挨拶

青木会長より挨拶がなされた。

### 2. 名誉会員の紹介

田中正明名誉会員より挨拶がなされた。

### 3. 平成22年度第2回理事会議事録の承認

(小野本部事務局幹事)

小野本部事務局幹事より平成22年度第2回理事会の議事録が示され、承認がなされた。

### 【審議事項】

### 4. 平成22年度秋季企画大会について(蓮見副会長)

11月13日(土)10時から17時、筑波大学大学会館、総合交流会館において開催予定である秋季企画大会「地域再生デザイン学の実践と構築」について蓮見副会長から、スケジュールおよび企画案について説明がなされ、承認がなされた。

### 5. 特集号「タイポグラフィ研究の現在」

韓国版の刊行について

(小林学会誌編集・出版委員会委員長)

韓国タイポグラフィ学会から特集号「タイポグラフィ研究の現在」を韓国語に翻訳し出版したいとの申し入れがあった件について小林学会誌編集・出版委員長から説明がなされ、審議の結果、申し出を受け入れることとした。

### 6. 会員の移動について(小野本部事務局幹事)

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、[入会: 正会員9名(キャンペーン適用4名)], [退会: 正会員3名]が承認された。

### 【報告事項】

### 7. グッドプレゼンテーション賞の選考について

(渡邊論文審査・論文誌編集委員会委員長  
(代)青木会長)

渡邊論文審査・論文誌編集委員会委員長の代理として青木会長から、本大会から、グッドプレゼンテーション賞の運営が、大会実行委員会から論文審査・論文誌編集委員会に切り替わるが、選考要領、選考組織などについては、基本的には前回までと同様に進めていきたいとの報告がなされた。

### 8. 「第57回春季研究発表大会」の発表予定数

(佐藤概要集編集委員会委員長)

佐藤概要集編集委員長から、第57回春季研究発表大会の発表件数について、口頭154件、ポスター60件、合計214件(2009年度202件)が予定されているとの報告がなされた。

### 9. 作品集・デジタル版について

(須永作品審査・作品集編集委員会委員長)

須永作品審査・作品集編集委員会から作品集・デジタル版の発刊について説明がなされた。まず媒体としては、モノクロ印刷の作品集および、映像、カラー版のPDFを収録するDVDとすること、募集・選考手続きについて、メールで受け付けるなど簡素化を図ることについて報告がなされた。それに対して、杉山理事から、デザイン学会が求めるデジタルコンテンツの領域について明確に示す必要があるのではとの指摘がなされ、会員告知の際、領域に関して明確な説明を加えて告知することとした。山中理事から、デジタルコンテンツに対して、日本デザイン学会のクレジットを入れるなど、複製に対する対応を行う必要があるのではとの指摘がなされ、委員会で検討することとした。また森田理事から、カラー印刷の作品集も検討し、あわせて、抜き刷りと同等の機能を持たせるためにも、カラー版PDFに、作品集と同じページ番号をふる必要があるのではとの指摘がなされ、委員会で検討することとした。

記録: 小野

## 平成22年度第4回理事会議事録

日時■平成22年10月2日(土曜日)  
15:30～19:30

場所■ネット・カンファレンス 東京会議室  
秋葉原 UDX 8階

出席者■青木(弘), 蓮見, 青木(幹), 五十嵐, 小林,  
佐藤, 杉山, 須永, 古屋, 松岡, 山中,  
國澤

委任状出席■尾登, 野口

欠席者■渡邊

### 1. 会長挨拶

青木会長より挨拶がなされた。

### 2. 平成22年度第3回理事会議事録の承認

(國澤本部事務局長)

國澤本部事務局長より平成22年度第3回理事会の議事録が示され、承認がなされた。

### 【審議事項】

#### 3. 学会各賞選考結果について(松岡担当理事)

宮崎学会各賞選考委員長より青木会長に提出された報告書にもとづき、松岡担当理事から説明がなされ、審議の後、承認がなされた。

#### 4. 特集号の巻号の入れ替えについて

(小林学会誌編集・出版委員会委員長)

小林学会誌編集・出版委員長より、いくつかの号に関して編集作業の遅れが生じているため、いくつかの巻号を入れ替えたいとの説明がなされた。また19巻1号として平成22年度春季研究発表大会オーガナイズドセッション「デザイン学のデザイン」をベースとした特集号を計画しているとの説明がなされ、審議の後、承認がなされた。

#### 5. 特集号の韓国での翻訳出版について

(小林学会誌編集・出版委員会委員長)

小林学会誌編集・出版委員長より、特集号の韓国での翻訳出版について説明がなされた。審議の後、著作権などの扱いについては、本年度の春季研究発表大会で承認された「学会誌掲載著作物の有効活用と公開方法の改変」に従うこと、印税については、今回は研究部

会の活動費用の一部とすることとした。

#### 6. IASDR2013について(青木会長)

青木会長より、IASDR2013開催に伴う、学会会議への共同主催申請について説明がなされた。申請する主な内容は、会議の説明、収支の明細、会場、時期、組織委員会であり、11月30日までにまとめる必要があるため、それらの資料作りについて協力要請がなされた。また五十嵐理事から、第6回アジアデザイン国際会議について、実際に提出された資料の抜粋にもとづき説明がなされた。

#### 7. 会員の移動について(國澤本部事務局長)

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、[入会: 正会員21名(内外国人10名), 年間購読2件], [退会: 正会員5名]が承認された。

### 【報告事項】

#### 8. 平成22年度秋季企画大会について

(蓮見副会長)

蓮見副会長より、秋季企画大会について説明がなされた。学会各賞授賞式と機械工業デザイン賞受賞製品プレゼンテーションは現在別会場を予定しているが、参加者の移動を考慮し、同じ会場で開催する方向で検討することとした。

#### 9. 作品集進捗状況

(須永作品審査・作品集編集委員会委員長)

須永作品審査・作品集編集委員会委員長より、作品集の進捗状況について説明がなされた。56件の応募があり、9月14日に開催した第一次審査により、40件を合格、16件を不合格としたとの報告がなされた。また前回の理事会で指摘があったカラー印刷の必要性について、委員会で検討した結果、費用的には可能であるとの判断から、カラー印刷を進めるとの報告がなされた。

#### 10. 支部の活動計画について

(青木(幹)企画委員会支部企画委員長)

青木(幹)企画委員会支部企画委員長より、本年度予定されている支部活動について報告がなされた。第4支部は1月21日(金)に研究発表会・懇親会を開催、第5支部は10月23日(土)に研究発表会・懇親会を開催、第2支部は秋季企画大会の中で懇親会カフェサロンを開催する予定であるとの報告がなされた。

11. 大会概要集投稿システム変更の件

(佐藤概要集編集委員会委員長)

佐藤概要集編集委員会委員長より、平成23年にJ-STAGEの論文投稿システム業務が民間に移行されるため、移行先の業者と平成24年以降の春季研究発表大会の論文投稿システムについて打合せを行い、その内容について報告がなされた。今後は契約内容などについて検討していくこととした。

12. JIDAによるPD検定とCPD制度の

検討経過について(佐藤教育・資格委員会委員)

8月25日、9月24日に行われたJIDAの資格制度打合せについて報告がなされた。CPDのポイント制度については、当初は本年の実施を目標としていたが、まだ検討の余地があるため、来年度も検討を進めていくとの報告がなされた。

13. 文科省：専門人材の基盤的教育推進プログラム

について(國澤本部事務局長)

今後、実際の教育プログラム開発を学会に委託する可能性があるとの報告がなされ、協力要請がなされた。

14. DESIGN シンポジウム2010について(松岡理事)

11月26日、27日、産業技術大学院大学で開催されるDESIGNシンポジウム2010について告知がなされた。

15. The 2nd International Conference on

Design Engineering and Scienceについて(松岡理事)

11月17～19日、森戸記念館で開催されるThe 2nd International Conference on Design Engineering and Scienceについて告知がなされた。

16. 『MIRAI DESIGN LAB.』について(須永理事)

電通、博報堂が共同で設立したMIRAI DESIGN LAB.の活動の一つであるMIRAI DESIGN AWARD 2030について告知がなされた。

記録：小野

住所不明で戻ってくる郵便物が  
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAX または

綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届」と書き添えて、

事務局までご連絡下さい。

ホームページ

[http://jssd.jp/files/change\\_regular.pdf](http://jssd.jp/files/change_regular.pdf)にも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局



上段左：研究発表風景

下段左：懇親会

上段右：

地元デザイナーの仕事展

下段右：学生発表風景



## 第5支部活動報告

第5支部長 青木幹太

第5支部では、平成22年10月23日（土）に崇城大学芸術学部（熊本）で「日本デザイン学会第5支部 平成22年度研究発表会・懇親会」を開催しました。この研究発表会・懇親会は、支部の大学相互や大学と企業の交流、学部や大学院の学生の学会活動への参加促進を目的に、平成18年より毎年1回の割合で開催し、今年で5年目を迎えます。これまで九州大学芸術工学部と九州産業大学芸術学部を会場に、交互に開催してきましたが、今年は初めて崇城大学芸術学部にご担当頂き、大会参加者はこれまでで最も多い111名に上りました。

研究会は、口頭研究発表と学生発表（口頭・パネル）で構成し、口頭研究発表は全国大会と同じ書式で事前に研究概要を概要集編集委員会に提出して頂き、研究発表概要集を編集しています。また大会時の研究発表も、全国大会に準拠した形式で実施しています。口頭研究発表は、昨年度の37件に対して32件とやや減少しましたが、学生発表が昨年度の7件から11件に増えています。また静岡の常葉学園大学造形学部から口頭研究発表と学生発表に参加が

あり、大会の盛り上げに貢献して頂きました。さらに今年の大会では地元デザイナーによる「仕事展」が開催され、熊本デザイン協会（KD21）会員13名と日本グラフィックデザイナー協会熊本支部（JAGDA 熊本）会員15名の作品のパネル展示があり、大学と企業の交流の場や学生が現場の仕事に触れる機会となりました。

口頭研究発表は午前と午後、それぞれ3会場に分かれ、どの会場でも熱心な研究発表と質疑応答が行われていました。学生発表は午前、午後の口頭研究発表の間に、大学ロビーを使って行われました。発表する学生は研究内容を記したパネルの前に立って、自分達の研究を紹介するとともに、他大学の教員や学生の質問に丁寧に応えていました。研究発表会終了後、崇城大学学食モナルトを会場に懇親会を開催し、50名を超える教員、学生が参加して大いに交流を深めることができました。

平成22年度の研究発表会の内容は、「日本デザイン学会第5支部 平成22年度研究発表概要集」にまとめています。本年度の研究発表会・懇親会では、崇城大学の本間康夫先生をはじめ同大学芸術学部の先生や学生の皆様にご尽力頂き心に残る大会となりました。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

## 創造性研究部会

主査：田浦俊春

First International Conference on Design Creativity (ICDC2010)(General Chair: 田浦俊春, Program Chair: 永井由佳里)が11月29日から12月1日の三日間にわたり神戸国際会議場において、the Design Society主催の公式行事として開催されました。ヨーロッパ、アメリカを中心に、実に30カ国からの第一線の研究者が参加し、デザイン論や創造的デザインの方法論についての議論が活発に行われました。吉川弘之氏の基調講演では設計学の基本概念が示されました。また、Dr. John Gero, Dr. Gabi Goldschmidt, Dr. Mary L. Maher, Dr. Steven Smith, Dr. Amaresh Chakrabarti, Dr. Yukari Nagaiによるパネルディスカッションでは創造的デザイン研究の指針が提示され、会場の参加者を交えた積極的な議論が展開しました。全80件(口頭発表:32件,ポスター発表:48件)の研究発表では建築,エンジニアリングデザイン,プロダクトデザイン,情報デザインなど幅広い領域を網羅しつつ創造性への集中的議論が行われました。the Design Society 会長 Chris McMahon 氏の臨席のもと、本国際会議の方針と水準が評価され、また将来的な活動について参加者からの大きな賛同を得ました。口頭発表論文32編とパネリスト等の論説9編は、Springer社から'Design Creativity2010'のタイトルのもとに出版されています。次回大会は2012年秋に英国のGlasgowで開催されます。



上：左から S. Smith,  
ML. Maher, J. Gero  
下：左から T. Taura, Y. Nagai,  
A. Chakrabarti, G. Goldschmidt  
右：ICDC2010 会場風景  
Poster viewing



左：基調講演 Dr. Hiroyuki Yoshikawa  
上：ICDC2010 会場風景

# 自動引き落とし手続きのお願い

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元でない方は、本部事務局へご請求ください。

本部事務局

## 開催予告—平成 23 年度春季研究発表大会

### 開催概要

テーマ：コラボレーションによるデザイン（仮）

- 1) 産業界とコラボレーション
- 2) 地域や一般の方とのコラボレーション
- 3) 学生達の積極的な交流

日時：平成 23 年 6 月 24 日（金），25 日（土），26 日（日）

会場：千葉工業大学・津田沼キャンパス

（＊募集告知／Web サイト 1 月中旬掲載）

## 献本御礼

### ◆寄贈図書

- ・ 図解 形状設計ノウハウハンドブック  
—デザイン科学が読み解く熟練設計者の知恵と工夫—,  
松岡由幸, 日刊工業新聞社
- ・ デザインの造形工学, 山岡俊樹
- ・ 好きですまえばし第 32 号,  
(財) 前橋観光コンベンション協会
- ・ KOBE CONVENTION 2010.10 Autumn Vol.215,  
(財) 神戸国際観光コンベンション協会
- ◆ 予稿集・論文集・報告書
- ・ 第 26 回ファジイシステムシンポジウム講演論文集,  
日本知能情報ファジイ学会

## 募集案内

日本工学会 科学技術人材育成コンソーシアム  
「第 2 回 科学技術人材育成シンポジウム」

各方面での科学技術人材育成の実践事例を紹介する。また「大学と社会の接点」と題したパネルディスカッションで大学から産業への接点での人材育成の課題を取り上げ、国・経済界・大学・マスコミの各方面より現状、問題点、展望について討論する。

- ◆会場：日本学術会議講堂（東京港区六本木 7-22-34）
- ◆主催：日本工学会（科学技術人材育成コンソーシアム）  
日本学術会議（土木工学・建築学委員会、機械工学委員会）
- ◆共催：科学技術振興機構、日本技術士会、日本工学アカデミー、日本機械学会、電気学会、計測自動制御学会、地盤工学会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本建築学会、映像情報メディア学会、日本塑性加工学会、資源素材学会、日本マリンエンジニアリング学会、日本金属学会、日本顕微鏡学会、軽金属学会、日本電気工業会、土木学会、日本工学教育協会、科学新聞社（依頼中含む）
- ◆後援：文部科学省、経済産業省、国土交通省、日本経済団体連合会、朝日新聞社（依頼中含む）
- ◆日本工学会 HP  
[http://www.jfes.or.jp/\\_ecst/topic/topic20101124\\_symposium20110122.pdf](http://www.jfes.or.jp/_ecst/topic/topic20101124_symposium20110122.pdf)

## 第 29 回横幹技術フォーラム 知の新しい活用法を求めて ～実践と理論の連携～

- ◆日時：2011 年 1 月 19 日（水） 13:00-16:45
- ◆会場：日本教育会館 707 号室  
(千代田区一ツ橋 2-6-2 Tel:03-3230-2831)  
半蔵門線 神保町駅 (A1 出口) 徒歩 3 分  
三田線 神保町駅 (A8 出口) 徒歩 5 分  
東西線 竹橋駅 (北の丸公園側出口) 徒歩 5 分  
東西線 九段下駅 (6 番出口) 徒歩 7 分  
JR 総武線 水道橋駅 (西口出口) 徒歩 15 分
- ◆主催：横幹技術協議会、横幹連合
- ◆参加費：横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は参加無料。
- ◆当日資料代：1,000 円(希望者のみ費用は当日申し受けます)  
【上記以外】一般 5,000 円(資料代込)
- ◆参加申込：【事前登録】オンライン申込  
[http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum\\_29\\_1.cgi?step=1](http://www.trasti.jp/cgi-bin/forum_29_1.cgi?step=1)  
(氏名、所属、連絡先 Email、TEL 等をご明記ください。)  
【当日申込】当日直接、受付へお越しください。  
(定員に達した場合、HP にて受付終了をお知らせします)

## 催し物

エコール・ド・渋谷 NHK アートギャラリー 2010  
第 40 回専門学校美術展

- ◆会期：2010 年 9 月 28 日（火）～ 12 月 19 日（日） 10:00～18:00
- ◆会場：東京都渋谷区 NHK 放送センター内  
NHK ふれあいギャラリーホール
- ◆主催：NHK、社団法人東京都専修学校各種学校協会

## 会員の移動

### ◆平成 22 年度第 4 回理事会承認

新入会 正会員 21 名（内外国人 10 名）

市野瀬 香	井上 靖久	金城 和之
佐藤 康三	新堂 雄一郎	高柳 弥生
谷 信雪	土井 俊央	小田 敬子
南 政宏	矢部 仁見	漆 麟
許 丁元	Cho Jung-Hyung	Rhie Jin Min
黄 干真	李 漢錫	黄 静純
Shun-Yuan Lin	Vilma Suero	Chin Yean Wu

年間購読会員 2 件

愛知淑徳大学 図書館

(株)三省堂書店 北東京営業所

退会 正会員 4 名

尾島 美恵	高島喜久子	高山 和也
山田 知幸		

### ◆平成 22 年度第 5 回理事会承認 2010.10.13

新入会 正会員 10 名（内外国人 6 名）

石丸 みどり	植松 陽一	小川 浩平
向井 眞智子	宋 基正	Chang, Wewi-Chen
Wen-Chi Chuang	Huang, Yu-Che	Jeong-gun Choi
Yunkyung Kim		

退会 正会員 4 名

崎田 喜美枝	馬場 雄二	周 臻
--------	-------	-----